

牧草地の除染作業を早急に

除染計画の工程を示せ

―県に強く要望―

質問 牧草の除染対策は転作田・牧草地の二区分に分けられているが、公共牧場をはじめとした牧草地(採草地)は主として岩手県農業公社が受託している。

理由は公社所有の機械が不足し対応ができず工程が示せないようだ。二週間に一回工程会議があるので早期に対応するよう、強力で申し入れをしてきたい。

除染には二年から三年かかるとされているが対応が非常に遅い。除染計画について、いまだ工程も示されていないようであるが、どうなっているか。

市長 牧草地は県全体で約一万五千ヘクタール・奥州市は約九百ヘクタールの希望があるが、県(農業公社)から工程が示されていない。

早急な除染作業が望まれる牧草地



どうする放射

議案審議

質問 県道と市道がつながっているところの除雪について、県道が早く除雪され、市道が残って大変困るし、効率が悪いと思う。県と協議し連携して同時に除雪できないか伺う。

市長 県道と市道で持分・責任の所在が異なり色々検討が必要であるが、市民サービス、効率の観点から県と協議していきたい。

質問 鳥獣被害が多く発生しているが、その対策は。

市長 平成24年度当初予算に国の補助制度を活用し鳥獣被害対策の予算を計上している。鳥獣被害対策協議会を発足させ平成24年度から3カ年の被害対策を策定した。具体的には、当面「ツキノワグマ」、「ハクビシン」の駆除対策を実施したい。

質問 子ども手当が児童手当に戻る。現況届けや予算面の市の負担増に

ついて伺う。

市長 現況届けは、支給要件が該当するかどうかなどの確認で、6月中の受付になる。市の負担は、現況届けからの精査が終了しないと正確には出せないが、一般財源から5千万円ほど増える見込みである。

質問 子ども手当では、国が手当てしていたものを、児童手当では市に負担させることになる。そのことをどう考えるのか。

市長 少子化・人口減少への対策に関して、市はもちろん取り組んでいくが、市だけの問題ではない。市長会などで、声は上げていくつもりだ。

質問 道路橋梁災害復興経費に關し、今後のスケジュールを伺う。

市長 災害査定の流れは、5月1日に県から通知が入ってきている。78件の調査・測量設計などの作業を至急しなければならぬ。その後、県との打ち合わせが6月上旬から下旬と示されている。その

の後、県は国土交通省との打ち合わせを行う。災害査定は7月の下旬を予定している。

質問 奥州市総合体育館という名称のほすが、前の名称である水沢総合体育館のままになっている。他にも合併して、本来奥州市という名称になっていなければならない看板が、合併前のままになっている。色々と大会などが行われているが早く替えるべきと思う。

市長 看板を変更する事務手続きを進めている。相当数あるが、業者からの見積りが6月初めに出されている。予算内の見積額だったので、早く発注手続きをしたいと考えている。

質問 広報おうしゅうにパンチ穴をつけてほしいという要望があるが、どう考えるか。

市長 予算的には、約200万円の増になる。できれば個々に対応していただきたい。